※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | １２０４ |
|---|---|

# 令和８年度　学アート科

| 教科 | 学アート | 科目 | (学)声優実技 | 単位数 | １単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | 独自教材 | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本講座は大阪アニメ・声優&e-sports 専門学校で主に土日祝日に行わる学外実習です。様々な実践を通して、「声を使った演技」について基礎的な知識・技能を総合的に学びます。演技の経験の有無は問いません。欠席や遅刻をしないこと等、基本的なルールを守ることは言うまでもなく、互いに協力し、助け合いながら真剣に講座に臨んでください。

## 2　学習の到達目標

声優に必要な声を使った演技についての学習を通して、次の資質・能力を育成することをめざす。
（１）朗読、ナレーション、ＭＣ、アテレコなどの声優に必要な基本的知識・技能を身に付けるようにする。
（２）様々な状況設定のもとで、話し方や演じ方を工夫し、試行錯誤することで自己表現力を養う。
（３）声を使った演技の知識・技能の向上に努め、他者と協働しようとする態度や自身のキャリア形成について考えようとする態度を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 発声や読み方といった話し方の基礎的な知識・技能を身につけている。<br>演技に必要な基礎的な知識・技能を身につけている。 | 朗読、ナレーション、ＭＣ、アニメアテレコ等において、台本を読み、場面に合わせた話し方や感情表現をすることができる。 | 様々な状況設定における話し方・演じ方の技能や表現力を身につけるために、意欲的に取り組もうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 半期 | 声優とは | 声優という職業について基礎的な知識を身につける。 | a:　声優がどのような分野で活躍しているのか基礎的な知識を身につけている。<br>c:　声優がどのような分野で活躍しているのか基礎的な知識を身につけようとしている。 | ワークシート | | レポート<br>取り組み姿勢 |
| | 発声・読み方・話し方①② | 声優として必要となる発声方法や読み方、話し方の基礎的な技能を身につける。 | a:　声優として必要となる発声方法や読み方、話し方の基礎的な技能を身につけている。<br>b:　朗読、ナレーション、MC、アニメアテレコ等において、台本を読み、場面に合わせた話し方をしている。<br>c:　朗読、ナレーション、MC、アニメアテレコ等において、台本を読み、場面に合わせた話し方をしようとしている。 | 実践演習 | 実践演習 | 取り組み姿勢 |
| | 演技・感情表現①② | 声優として必要となる感情表現等、演技の基礎的な技能を身につける。 | a:　声優として必要となる感情表現の方法等、演技の基礎的な技能を身につけている。<br>b:　朗読、ナレーション、アニメアテレコ等において、台本を読み、状況設定に合った演技をしている。<br>c:　朗読、ナレーション、アニメアテレコ等において、台本を読み、状況設定に合った演技をしようとしている。 | 実践演習 | 実践演習 | 取り組み姿勢 |
| | 台本暗記・発 | これまでの実習を通して学んだことをもとに、台本を暗記し、発表を行う。 | b:　台本を暗記し、状況設定に合った話し方をしている。<br>c:　台本を暗記し、状況設定に合った話し方をしようとしている。 | | 発表 | 取り組み姿勢 |
| | アテレコ・発表 | これまでの実習を通して学んだことをもとに、アテレコを行う。 | b:　アニメアテレコにおいて、台本を適切に読み、状況設定に合った演技をしている。<br>c:　アニメアテレコにおいて、他の受講生と協力しながら、台本を適切に読み、状況設定に合った演技をしようとしている。 | | 収録素材 | 取り組み姿勢 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度